

# 新時代の都市とランドスケープ

講師+全体構成=**進士五十八** しんじいそや(ランドスケープアーキテクト/福井県立大学長)

今、盛んにソーシャルディスタンスが叫ばれる。マスクと三密回避を訴えるだけで済むほど事は簡単ではない。E. T. Hallの『THE HIDDEN DIMENSION』(1966、日高敏隆訳、かくれた次元、1970)では、①密接距離、②個体距離、③社会距離、④公衆距離の4つの距離の生かし方が、豊かな人間関係を生むというプロクセミクスを提案する。都市を高層化し過密ともいわれる賑わいを楽しんできた都会人は、新型コロナウイルス感染症禍の冷水をかけられている。アフターコロナ社会の新時代はどうしたら構想できるか。その根本と実際をゲストと共に考えたい。



高知市 牧野富太郎記念館 設計・内藤廣

① 9月11日



福井県年縞博物館 設計・内藤廣

① 9月11日



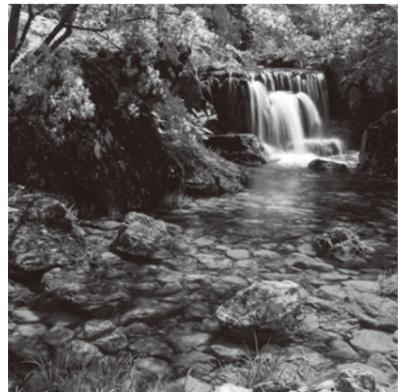
無鄰菴 庭園管理・加藤友規/植彌加藤造園

② 10月23日



對龍山荘 庭園管理・加藤友規/植彌加藤造園

② 10月23日



びわこ池田記念墓地公園 作庭・井上敏宏/植芳造園

③ 11月20日



六甲山の庭 作庭・井上敏宏/植芳造園

③ 11月20日



六本木毛利庭園 デザイン・榊原八朗

④ 12月18日



日本橋福徳の森 デザイン・榊原八朗

④ 12月18日



美麗農村 中国成都市稲郷漁歌田園計画・朗基

⑤ 2月26日



美麗農村 中国成都市稲郷漁歌田園計画・朗基

⑤ 2月26日



木更津市 クルックフィールズ ファーム

⑤ 2月26日



木更津市 クルックフィールズ ベシーヌの人 作・ファブリス・イペール

⑤ 2月26日

① 9月11日(金)2020年 対談=**進士五十八** + **内藤 廣** ないとう ひろし(建築家)

## アフターコロナの都市とランドスケープ

都心中の都心(渋谷)のビジョンを担当する内藤廣氏と共に、深刻な都市環境問題の背景、グリーンインフラ、都市と緑のオープンスペースやランドスケープの役割。アフターコロナ、ニューノーマルの自然共生社会像について対談する。

**進士五十八** 1944年京都生まれ。東京農業大学農学部造園学科卒業。農学博士。専門は、造園学・環境学。東京農業大学長、日本造園学会長、日本都市計画学会長、日本生活学会長、日本野外教育学会長など歴任。著書に『アメニティ・デザイン』『風景デザイン』『農の時代』『ルーラル・ランドスケープ・デザインの手法』(以上、学芸出版社)、『グリーン・エコライフ』(小学館)、『日比谷公園』(鹿島出版会)、『日本の庭園』(中公新書)、『進士五十八と22人のランドスケープ・アーキテクト』『進士五十八の風景美学』(以上、マルモ出版)など多数。みどりの学術賞(2015)、紫綬褒章(2007)、日本農学賞・読売農学賞(2006)、日本造園学会賞(1989、2012、2016)など。

**内藤 廣** 1950年神奈川県生まれ。早稲田大学大学院にて吉阪隆正に師事、修士課程修了。フェルナンド・イゲラス建築設計事務所(マドリッド)、菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981年内藤廣建築設計事務所設立。主な作品に「鳥羽市立海の博物館」「安曇野ちひろ美術館」「牧野富太郎記念館」「倫理研究所富士高原研修所」「島根県芸術文化センター」「旭川駅」「福井県年縞博物館」「とらや 赤坂店」「高田松原津波復興記念公園 国営追悼・祈念施設」「東京メトロ銀座線渋谷駅」など。

② 10月23日(金) ゲスト講師=**加藤友規** かとう ともき(造園家/植彌加藤造園 8代目)

## 古都の名園ー ガーデン・マネージメント

無鄰菴や對龍山荘などの別荘庭園のみならず、南禅寺方丈庭園や東本願寺涉成園など寺院庭園まで、数多くの京都の名勝指定庭園の保存と活用を指導。さらにはインバウンドなど、京都文化観光の普及啓発、ソフトサービスのマネージメントをすすめている。講義では名勝庭園の保存、修復、管理を具体的に紹介しながら、北米日本庭園協会との国際連携等を含め世界の文化財としての「日本庭園」の深さや楽しさをお伝えしたい。

**加藤友規** 1966年京都生まれ。植彌加藤造園株式会社8代目代表取締役社長。京都芸術大学環境デザイン領域日本庭園分野教授、学術博士。数百年におよぶ持続的な日本庭園の育みを、庭園管理だけでなくその利活用にも幅を広げて、包括的な「フォスタリング(育成管理)」の理念を提唱。

◎ 日程未定 一日見学 **クルックフィールズ** (予定) 講師=**進士五十八**

2019年秋千葉県木更津市にオープン。「農」「食」「自然」の循環が体験できるサステナブルファーム&パーク。\*状況により、中止となる場合がございます。

③ 11月20日(金) ゲスト講師=**井上敏宏** いのうえ としひろ(造園家/植芳造園)

## 田園と自然美ー 作庭家のチャレンジ

庭の魅力は、「唯一無二の生きている芸術空間」であるというべきだろうか。「作庭記」にもある庭づくりの要諦は「国々の名所の景と自然の美しさ」と、他方で施主の希望する趣味嗜好に十分応えつつ、美しい空間を創造することである。造園家の使命はその思いを受けて、諸条件を考慮し作庭することだと私は考えてきた。これまで制作してきた私の作庭思想と表現手法を、設計・施工・管理に至るまで具体的に解説したい。

**井上敏宏** 1973年京都生まれ。1996年東京農業大学農学部造園学科卒業。1996-98年野沢鈴木造園設計事務所勤務。1998年より植芳造園勤務。主な作品に、「山科の家」「びわこ池田記念墓地公園」「千寿庵庭園」「伏見稲荷大社 社務所庭園」「六甲山の庭」「芦屋の庭」「元興寺小児房の庭」等。

④ 12月18日(金) ゲスト講師=**榊原八朗** さかきばら はちろう(造園家/ランドアート代表)

## 巨大都市東京の庭苑デザイン

私のライフワークは庭園の自然表現にある。「デザインの源泉は自然にあり」だ。自然の美的要素を客観視的に追求する。それを理論化し、自然の本質をデザインに反映する。都市と自然の調和についても深く考えてきた。デザインの美的要素、バランスと調和、人工と自然の表現手法についても実作で探ってきた。特に、都心の商業庭園の場合、鑑賞本位のみならず、商業と一体化の庭園ビジネス展開も必須である。

**榊原八朗** 1944年静岡県生まれ。1967年東京農業大学造園学科卒業。1967~76年小形研三氏に師事。自然美を理論的に技術化した日本を代表する造園家。六本木ヒルズ毛利庭園、東京ミッドタウン檜町公園、日本橋室町再開発の福徳神社の森などナチュラル・ランドスケープの技術力によって、都市再開発プロジェクトを成功に導いた。

⑤ 2月26日(金)2021年 講師=**進士五十八**

## アフターコロナで改めて問われる都市と「農」の共生

テキスト:拙著『「農」の時代』(2003)で、21世紀は都市の農村化の時代と警鐘を鳴らしたが、コロナウイルス禍の都市居住者は正にこれに直面している。都市集住の効率性と魅力が、21世紀のグローバル世界、グローバル経済を推めたが、一方、環境共生・自然共生・地域共生上の弱点を露呈し、コロナ禍で深刻化の度を高めている。オープンスペースの適正配置、エコ・シティ化など、過密都市からの脱却。多自然居住・二地域居住、マルチハビテーションの実体化、都市・農村対流社会の具現化を考えなければならない。そのためには「美麗農村計画」も。

お名前 (フリガナ)	会員 No		
ご住所 〒			
Tel	Fax	Email	
ご職業			

Fax: 03-3405-7714 へお送り下さい。



庭園を通し、大気へと連がる、  
空間美学をまなぶ。

# 庭園倶楽部

TEIEN CLUB

## 2020

2020年度 会員募集  
2020年9月～2021年2月  
金曜日19時～21時 ワタリウム美術館  
「新時代の都市とランドスケープ」  
対談1回＋講義4回＋一日見学1回  
講師＋全体構成＝進士五十八  
ゲスト講師＝内藤廣・加藤友規・井上敏宏・榑原八朗

申込方法 | 参加ご希望の方は、申込書にて必要事項をご記入の上、郵送またはFax:03-3405-7714にてお申込下さい。  
なお、同時に、会費を下記の口座にお振込下さい。定員になり次第、〆切らせて頂きます。

特典 | 庭園倶楽部会員は、期間中、ワタリウム美術館への入館が無料になります。  
ワタリウム美術館特別ニュースを受け取ることができます。

会費 | 入会金 ¥5,000  
(ワタリウム美術館サポート会員の方、庭園倶楽部ご継続会員の方は無料。artpass会員の方は¥4,000)

参加費 | ¥16,000 対談1回＋講義4回  
※ 一日見学1回 経費別途 (一日見学は、状況により、中止となる場合がございます)

振込先 | 三井住友銀行 青山支店 普通口座 1621750 庭園倶楽部

